

# 2022 年度事業の点検・評価について

## 1 概要

「愛知県図書館の基本的な運営方針」（2014.8）後半5年の行動計画（2019年度～2023年度）の4つの取組み、行動目標と運営指標（数値目標）を踏まえ、毎年度、事業計画と運営指標の達成状況について、当館及び図書館専門委員会により点検と評価を実施する。

（参考）文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（2012.12）

公共図書館は、当該図書館の基本的な運営方針を踏まえて策定した目標と事業計画について、毎年度、自己及び関係者・第三者による点検・評価を行い、PDCAサイクルによる進捗管理の実施に努めることとされている。

## 2 事業計画の点検・評価

・59の事業項目のうち、A評価が52項目（88.1%）、B評価が6項目（10.2%）、C評価が1項目（1.7%）、で、A評価とB評価で98.3%となった。

・「重点的に取り組む事項」として計画した以下の事項①から⑤を着実に実施し、成果を上げることができた。

### ① 県政150周年記念事業の実施

⇒ ・県政150周年記念事業として、「愛知県の建物150年」、「愛知県図書館報あゆち『愛知が舞台』と県政150周年」など、講演会2回、企画展示8回を実施。

### ② Yottekko（ヨtteコ）の活用

⇒ ・1階エントランスYottekko（ヨtteコ）で、「祝 ジブリパーク開園！ジブリ関連図書展示」、「あいちアール・ブリュット作品展」など、42回の企画展示を県の関係各課等とも連携しながら実施。

### ③ 「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実

⇒ ・新たにオーディオブック111点含む電子書籍を439点購入。  
・Webサイトに簡易な問合せに対応するチャットボットを搭載する実証実験を実施。

### ④ 貴重資料のデジタル化の推進

⇒ ・貴重和本等を新たにデータ化したうえで資料調査を進め、「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで17タイトルを公開。

### ⑤ 図書館関係者への研修の強化

⇒ ・愛知図書館協会等のネットワークも活用し、オンライン開催等の手法も工夫しながら、館外向け17回、館内向け12回の研修を実施。



・事業計画は十分に進捗したと評価できる。

## ○ 2022 年度事業計画の点検・評価

※詳細については別表参照

取組	行動目標	事業計画の項目数	評価項目数				
			A	B	C	D	—
館1 すべての県民への図書サービスの提供	① 誰でも利用しやすい図書館サービスの推進	15	13	2			
	② 地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充	9	8		1		
	③ 学校や地域、家庭での子供読書活動の支援	5	4	1			
	④ 資料保存体制の整備及びデジタル化の推進	4	4				
	小計	33	29	3	1		
へ2 市町村等への支援	⑤ 協力貸出、相互貸借の拡充	2	1	1			
	⑥ 市町村立図書館等の運用・人材育成の支援	3	3				
	小計	5	4	1			
ワ3 ワークの形成	⑦ 様々な団体・行政機関と連携する場と機会の提供	5	4	1			
	⑧ 多様なメディアを活用した広報の強化	9	9				
	小計	14	13	1			
制4 支える図書館整備	⑨ ものづくり文化、地域資料などの専門的な資料の収集と提供	4	4				
	⑩ 新しい取組みを担う県図書館職員の育成	3	2	1			
	小計	7	6	1			
計		59	52	6	1		

※ 事業計画の点検・評価については、「あいち文化芸術振興計画2022年次報告書」の評価区分（下表）を使用。

### （参考）「あいち文化芸術振興計画2022年次報告書」の評価区分

評価区分	目標達成状況（評価の目安）	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満
—	対象年度に、事業の実施が無い等により、評価不能の場合	

※今回の自己評価では、各評価区分の中間的評価は、切り上げて評価した。

### 3 運営指標（数値目標）の点検・評価

- ・ 「Ⅲ 蔵書検索アクセス数」が目標値を大きく上回ったほか、  
「Ⅴ 主要紙での評価」、「Ⅵ 職員の講師派遣・協会等の発表回数」が目標値を達成した。
- ・ 「Ⅰ入館者数」、「Ⅱ 利用者の満足度」、「Ⅳ 協力貸出の冊数」については、目標値の8割以上となっている。



- ・ 目標値を概ね達成しており、事業が進捗したことを反映した結果となっている。

#### ○ 運営指標（数値目標）の状況

取組	運営指標（数値目標）	2022年度達成状況	参考（2021年度）
1 館サービスの提供 の県民への図書	Ⅰ 入館者数（44万人以上）※1	413,568人 （進捗率：94.0%）	418,219人 （進捗率：108.6%）
	Ⅱ 利用者の満足度（「来館の目的が達成できた」が90%以上）	来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が87.6% （前年度比：2.0ポイント増）	来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が85.6%
	Ⅲ 蔵書検索アクセス数（180万回）	2,364,940回 （進捗率：131.4%）	2,085,425回 （進捗率：115.9%）
2 の支援 市町村立図書館等へ	Ⅳ 協力貸出の冊数（市町村立図書館向け12,600冊以上※2、学校図書館向け年間3,500冊以上※3）合計16,100冊以上	市町村立図書館向け 10,215冊 （進捗率：81.1%） 学校図書館向け 3,471冊 （進捗率：99.2%） 合計：13,686冊 （進捗率：85.0%）	市町村立図書館向け 11,365冊 （進捗率：105.2%） 学校図書館向け 3,467冊 （進捗率：173.4%） 合計：14,832冊 （進捗率：115.9%）
3 の形成 ネットワーキング	Ⅴ 主要紙での評価（「プラス」評価が80%以上）	100%（15件中プラス：15件、中立：0件、マイナス：0件） （前年度比：21.4ポイント増）	78.6%（42件中プラス：33件、中立：9件、マイナス：0件）
4 の整備 制の整備	Ⅵ 職員の講師派遣・協会等での発表回数（20回以上）※1	20回（講演等17回、文献発表3回） （進捗率：100%）	23回（講演等21回、文献発表2回） （進捗率：135.3%）

感染症拡大の影響を大きく受ける指標であることから、次のように数値目標を補正した。

※1 2021年度は元の数値目標（Ⅰ：55万人以上、Ⅵ：24回以上）の70%、2022年度は80%

※2 2021年度は元の数値目標（18,000冊以上）の60%、2022年度は70%

※3 2022年度は元の数値目標（2,000冊以上）の175%（2021年度に元の目標値を大きく上回ったため、2022年度に上方修正した。）